

◆奨励賞◆

いつも思っていることと夢

旭 小学校 六年

馬 上 流 音

ここで日常と自分の夢を発表します。まず日常で思っていることを、たくさん発表します。まず一つ目の思っていることは、親が子どもには、「もう遊ぶのをやめなさい」と言うのに、朝、昼、夜ちまちまやっているのに自分のことはあまり思っていないと思っています。

二つ目の思っていることは、じゅく先生の先生とかが、人を当てるのが、同じ人ばかりで、ひいきしているんじゃないかってけっこう思っていて、さいきんさらにそう思い始めました。そして、三つ目が、親とかが、「これ知らないから教えてー」みたいなのが、本当に知らないのが、不安だし、子どもたちのために、知らないフリをしているんじゃないかっていうぎもんがあつて、しかもそのことを本人に言えないから、さらにぎもんで、しかたがないです。四つ目は、なんで自分の考えを人におしつけるのだろう、というぎもんです。

たしかに、ていあんとかは、よくするけどもなぜていあんではなく、人におしつけるようなことをなぜするのだろうか、というぎもんです。五つ目の思っていることは、なぜ人にはきびしく、自分にはやさしくするのだろうという事です。自分のまわりの人はよく、まわりの人をよくせめ、同じくせきにんのある自分のことはなにもせめない、などのことがよくおきます。

さいごに自分の夢を発表します。それは、お父さんのせいこついんをつぐことです。

そのためによく教えてもらっています。